

## 熊谷市史編さん室 事務局活動報告

(平成一九年四月～平成二〇年三月)

### I 古文書調査報告

熊谷市史編さん室では、各専門部会の活動の資料とするため、市史に関係する古文書について、目録作成などの基礎的な調査を行っている。市内等に所在することができるだけ多くの古文書について、調査を行いたいと考えている。

また、市内の古文書を次世代へ遺すために、古文書を長く良い状態で保存するための措置や、所蔵者に長く古文書を所蔵してもらったための啓発活動を行っている。

ここでは、まず、当室で行っている古文書調査の方法等について大まかに触れ、次いで、平成一九年度から二〇年度に調査が終了したそれぞれの文書について、簡単に報告する。

#### 一 古文書調査の方法について

以下、手順に沿って説明する。

##### ①古文書の所在確認

平成一五年から一八年度に行った「古文書所在確認調査」(詳細は5～8頁参照)や、昭和五二年度に埼玉県が行った「古文書所在確認調査」の結果、市報「古い文書がありませんか」の記事を見た市民からの連絡などから、古文書を所蔵する個人宅や神社・機関の把握を行う。

##### ②所蔵者宅への訪問・古文書の借用

調査することの承諾が得られた所蔵者宅等に伺い、古文書の現状確認を行う。また、所蔵者からその家や地域についての聞き取り調査を行う。

古文書が借用できる場合は預かり、妻沼展示館に搬入する。借用できない場合は、現地で調査を行う。

③ 古文書の掃除、封入、箱詰め

古文書のちりやほこり、鼠糞などを落とし、きれいにする。その後、原則として一点ずつ、中性紙製の専用封筒に封入する。この封筒は、劣化しにくいいため、長期間の保存が可能になる。

古文書を封入した封筒は、中性紙ダンボール製の資料保存箱に入れる。この箱は、やはり劣化しにくいいため、長期間の保存が可能となる。資料保存箱内には、防虫剤を入れる。

借用した文書については、この作業が終わった後、妻沼展示館内の収蔵庫に収納する。

④ 古文書情報の記入

古文書を封入する専用封筒には、古文書の所蔵者、古文書番号、題名（内容）、差出、宛名、年代、形態、備考等を記入する欄がある。これらについて、一点ずつ古文書を解読して記入していく。

⑤ 写真撮影・写真データの整理

古文書の一点一点について、原則としてデジタルカメラ

ラで撮影する。撮影後の写真データについては、整理・



妻沼展示館 収蔵庫内

保存作業を行う。また、写真データをA4用紙に出力し、簿冊形式にまとめる。

#### ⑥ 古文書情報の入力（目録の作成）

専用封筒に記入した古文書の情報について、デジタル入力を行い、目録を作成する。

この目録は、専用封筒に付してある番号と照合できるため、すぐに目当ての古文書が取り出せるようになる。

#### ⑦ 古文書群についての解説作成

まとまった数のある古文書群については、解説を作成する。

#### ⑧ 確認、古文書の返却

最後に、借用してきた古文書の数と、整理後の古文書の数が同じかどうか確認する。

調査が終了した後、古文書所蔵者に、借用した古文書を返却する。この際、所蔵者に古文書が地域の歴史にとつて重要であることを伝え、長く良い状態で保存してもらえようをお願いをする。

なお、一部の古文書については、他団体の協力を得ながら調査を行っている。

「くまがや古文書学習・研究会」には、いくつかの古

文書群について、古文書を解読して専用封筒に記入する活動をしてもらっている。また、「立正大学古文書研究会」には、下奈良飯塚誠一郎家文書について、市史編さん室と共同で調査を行ってもらっている。

## 二 調査終了文書の紹介

### 【平成一九年度古文書調査報告】

太井石井義男家文書 三七九点

近世・近代文書。近世に石井家は太井村名主代・百姓代を勤め、嘉永二年（一八四九）には、二町八反七畝歩余の田畑を所持していた。本文書群は、村政・商業・金融・家関係が中心である。初見は寛文十一年（二六七二）「大井之郷亥御年貢田畠二可」。近代では金融関係文書が多い。

飯塚鈴木進家文書 八二二点

近世・近代文書。近世に鈴木家は飯塚村名主を勤めた。旗本勝手賄関係が多く、用水・金融・地誌御調御用関

係文書がある。初見は宝暦十一年（一七六一）「居屋敷田畑持高名寄手帳」。近代では修業・卒業証書が多い。

八木田大槻家文書 三八四点

妻沼小島小林利雄家文書 一三九点  
近世・近代文書（但し近世は一点）。近世に小林家は小島村名主を勤めた。近代の家関係文書が中心である。

近世・近代文書。近世に大槻家は八木田村の旗本玉虫氏知行所名主を勤めた。支配・村政・土地・金融・用水・交通・文化関係文書が中心である。初見は寛文七年（一六六七）「算福記之下卷（写）」。近代では雇人・金融関係文書が多い。

戦争関係・旅行関係文書や土地売買関係書類、村税の領収書が多い。

東別府権田不二家文書 一八〇点

川原明戸松本清二家文書 一六七点

近世・近代文書。初見である天和三年（一六八三）「御縄入絵図」に記された由緒書によると、松本家は五郎兵衛が本田村（現在、深谷市）の松本孫重郎家から分家したとある。近世の刊本・写本が中心である。

近世・近代文書。「麦翁」権田愛三を輩出した家である。近世では、支配・村況・家・寺（香林寺）関係文書が中心である。尚、「麦翁」関係の文書は、葛飾区郷土と天文の博物館によって一部分目録作成がされている。

妻沼田島美代家文書 七点

近代文書。明治から昭和期にかけての結納関係・戸籍謄本・戦争関係文書が中心である。いずれも家関係の文書であり、書状が多い。

妻沼長谷川眞一家文書 一三点

近世・近代文書。近世では土地・奉公人・絵図関係文書が中心である。初見は貞享元年（一六八四）「堀田筑前守様御檢地上宿屋鋪割之形（写カ）」。近代では村況関係文書が多い。明治九年（一八七六）「三町為取替議定書」がある。

## 大野大島浩家文書 三四点

近世・近代文書。近世は文久三年（一八六三）「御年貢納帳」と慶応四年（一八六八）「三組反別帳」の二点で、近代の小作・養蚕業・金融・雇人関係文書が中心である。

治九年（一八七六）「埼玉県管轄第八大区五小区出来島村地籍図」である。

## 東別府個人蔵文書 三点

高札が二点ある。天和二年（一六八二）「きりしたん札」と貞享二年（一六八五）二月二日「鉄砲打囃託札」。熊谷市立図書館発行の『高札』（平成四年）に、写真及び翻刻文が掲載されている。ほかに、奥原晴湖の書がある。

近世・近代文書。井上家は近世には原井村名主、近代には戸長・村長・西別府村連合会議議長等を勤めた。近世は、絵図・水利・土地・宗教・文化関係文書が中心である。初見は延宝四年（一六七六）「道ヶ谷戸・八木田・原井村論所立会絵図」であり、絵図の豊富さが本文書群の特徴となっている。近代では行政関係文書が多い。

## 妻沼堀越尚二家文書 七点

近世・近代文書。近世は質地証文・奉公人請状等がある。近代では明治一三年（一八八〇）「地券」、「妻沼村絵図写」がある。

## 柿沼龍昌寺文書 一点

龍昌寺が古書店から購入した柿沼村の天保一一年（一八四〇）「五人組帳」。弘化三（一八四六）・嘉永五（一八五二）・安政五（一八五八）・元治元年（一八六四）の百姓連印が確認できる。

## 出来島栗原英雄家文書 二点

近世・近代文書。二点ともに絵図である。天明元〜四年（一七八一〜一七八四）「出来島村反別絵図」、明

## 日向島田道郎家文書 三五一一点

近世・近代文書。島田家は戦国時代羽生城主木戸氏に

仕えており、日向城主であったと考えられる。近世には、神道関係の諸職を歴任した。神道関係文書・書籍が中心である。初見は寛文二三年（一六七三）「補任三僧祇職事（補任状）」。特に明治前期の神道関係文書が豊富である。

樋春小島洋一家文書 七五二点

90〜92頁参照。

代田中賢一家文書 四点

近世・近代文書。近世では、安政四年（一八五七）に土御門殿江戸役所吉川筑前から熊谷宿阿部左近に出された「定（神道職札）」等がある。近代では、明治期の代村「地引帳」等がある。

妻沼田島良生家文書 六四三点

近世・近代文書。田島家は近世に聖天宮の祢宜を勤めた。近世では、神社・商業・旅日記関係文書が中心である。初見は安永八年（一七七九）「質奉公人請状之事」。近代では絵図（字限図）・戦争・文化関係文書が多い。

特に「旧旧記並御一新二付出願面雜書目録」が重要である。

【平成二〇年度古文書調査報告】

三ヶ尻幸安寺文書 四七九点

近世・近代文書。幸安寺は文亀二年（一五〇二）開山。近世は幸安寺の除地・金融・戸口に関するものを中心となる。初見は天和三年（一六八三）「幸安寺境内之儀除地書付写」等。近代は小字の番地図が多い。

代細井平六家文書 二点

近代文書。大正十一年（一九二二）「理髪店営業認可証」、「熊谷名所グラフ（写真集）」である。

弥生廣川文書（所蔵者関田宗兵氏） 九点

近代文書。昭和初期の大福帳・印章が中心となる。初見は明治三〇年（一八九七）「新築扣」があり、明治四一年（一九〇八）「料理店営業継承許可証」がある。

石原新井重雄家資料 九点(内七点寄贈)

借用資料は、昭和五年(一九三〇)「熊谷大橋」、  
「石原小学校」の写真。

寄贈史料は、昭和五〇年代に着工した上石原・伊勢町  
付近の新幹線高架工事の写真、石原駅の写真がある。

弥生落合家文書 一点(内二点寄贈)

近世・近代文書。広瀬村の史料。初見は安政二年  
(一八五五)「万板割控帳」。写本が中心となる。

寄贈史料は、寛政二年(一七九〇)(写)「(刑罰御定書)」、  
文政一〇年(一八二七)「御取締筋組合議定為取替連  
印帳」である。

間々田個人蔵文書 一点

近代文書。明治一二年(一八七九)の「村誌書上簿」  
である。差出は間々田村戸長椎橋貞作で、宛所は埼玉  
県令白根多助である。「武蔵国郡村誌」作成のため提  
出した間々田村分の控えと考えられる。

下増田新井三郎家文書 五六〇点

近世・近代文書。新井家は近世に下増田村名主を勤め  
た。支配・鷹場・年貢・村況・水利・道中記関係文書  
が中心である。初見は寛永一四年(一六三七)「(あら  
川・ミかぢり村周辺絵図)」・同年「(三ヶ尻より西別  
府江之内水口絵図)」。近代では選挙関係文書が多い。

石原関口毅家文書 一九七点

近世・近代文書。関口家は近世に助郷惣代、近代に組頭・  
准副戸長・大麻生堰組合惣代を勤めた。助郷関係文書  
がまとまっている。他に村況・用水・東漸寺関係文書・  
書籍等がある。初見は天保四年(一八三三)「武州大  
里郡字御正堰組合六ヶ村用水坎樋御普請出来形帳」。

佐谷田田ヶ谷家文書 六〇四点

近世・近代文書。田ヶ谷家は、中世、常陸下妻城主で  
あった多賀谷氏の末裔とされる。近世は、佐谷田村の  
地主であり、文書は暦・土地関係が多い。初見は天保  
一一年(一八四〇)「天保一二年暦」。近代は土地・教  
科書関係が多い。

下奈良集福寺文書 三三四点

近世・近代文書。集福寺は永仁六年（一二九八）に開山。近世は朱印状（写）・絵図・村・本末関係文書が中心である。初見は天正二八年（一五九〇）「禁制（豊臣秀吉禁制）」。近代は書簡・金融関係文書が多い。

弁財大島清和家文書 六六八点

近世・近代文書。大島家は近世に弁財村名主を勤めた。支配・土地・年貢・村政・村況・戸口・水利・交通・金融・寺院・家・旅日記関係文書が中心である。初見は慶長一五年（一六一〇）「弁才之村戊御年貢可納御割付之事」。近代では租税・産業・金融関係文書が多い。

本石志村葉子家文書 三点

近世・近代文書。志村家は代々医者を勤める。前当主志村忠夫氏が著した、『町医者三百年』によると、初代の養朴は、慶安二年（一六四九）に生まれ、天和三年か、貞享元年頃（一六八三〜八四）に石原村で医業を開業したとある。初見は万延元年（一八六〇）「立菴日録」。八代立菴の日記であり、当時の医師の日常

を知る貴重な史料といえる。

妻沼小池瑞枝家文書 三五一一点

近世・近代文書。小池家は妻沼村で染物業や製糸業を勤めていた。七代目久兵衛の長男に小池水齋がいる。水齋は寺門静軒をむかえ、両宜塾を開いた。近世・近代共に書画をはじめとする文化関係の文書が中心となる。「両宜塾記」、「寺門静軒書」等、貴重な書画がある。また、両宜塾最年少者の田中正舜関連の文書が多い。

最後に、古文書の調査をさせていた、たいした所蔵者の方々に厚くお礼申し上げます。

（文責 一 蛭間健悟 二 栗原健一・水品洋介）



## II 民俗基礎調査報告

### 一 調査の意義

熊谷市民の日々の生活様式や日常行われている行事、風習、儀礼などが社会の急激な変化の影響を受けて、多くのものが失われたり、行われなくなってきた。また、古くからの風習や儀礼を知っている年代から代替わりの時期にきている。これら民俗に関する調査を早急に行わないと、記録として残すことが不可能になってしまうことから、民俗基礎調査は、熊谷市史編さん委員会が発足する以前の段階から着手した。

### 二 調査の計画

市史編さん室では、右の理由に基づき平成一五年八月一日に「熊谷市史編さん民俗基礎調査実施計画」を策定し、民俗に関する様々な基礎調査を年次計画により実施することとして位置づけた。実施計画は数回改正を行ってきたが、現段階の年次計画については別表1のと

おりである。

この計画に基づき、平成一五年度から熊谷地域（旧熊谷市）で、また、平成一七年度から妻沼地域（旧妻沼町）で毎年一つの分野について調査を行っており、調査票を集約し、調査票から考察した総論などを掲載し熊谷市史調査報告書民俗編としてとりまとめ刊行してきた。

なお、平成一五年度から一八年度までは、市立熊谷図書館市史編さん室が、平成一九年度からは、熊谷市の組織改正により社会教育課市史編さん室が担当した。

### 三 調査の方法

調査票は、それぞれの分野に関する項目について指導者の助言のもとに事務局（市史編さん室）が作成した。調査員として熊谷市郷土文化会会員・妻沼地域文化財調査研究会会員・市立熊谷図書館美術郷土クラブ会員・市報などの募集記事で応募された方・前回の調査で調査員を受けていた、いただいた方に引き続きお願いするなど、多くの市民の方々に委嘱し、調査に御協力をいただいた。調査を実施するに当たり、委嘱状の交付式及び説明会を

開催し、民俗基礎調査を行う趣旨・目的及び留意事項・調査票の記入方法について説明した。また、調査員に質問内容をより深く理解し調査が順調に行えるよう指導者からの解説・講演も合わせて行った。

調査対象は、調査員自身の家や交流のある家、古くからの家、昔のことをよく知っている家を選び、調査の日程は、調査員と相手（話者）の都合で決めて訪問していただいた。

調査は、聞き取りによる方法を基本とし、配布した調査票の質問に沿って調査員が質問し、その回答を整理し、とりまとめて調査票に記入していただいた。

調査票は事務局で受付し、入力作業を行った。入力後、活字にしたものをまず事務局が内容確認・校正を行い、回答内容の不明な点など再確認が必要な箇所などをチェックした。その後、この調査票を再び調査員に戻して、校正及び内容確認を行っていた。さらに、話者への確認が必要なことについては調査員から確認をしていたいただいたほか、事務局が直接確認したものもある。

このような校正を事務局と調査員が行った後に、調査報告書として指導者による分析とまとめを総論として加

【別表1】

調 査 名	熊谷地域	妻沼地域
年 中 行 事	平成 15 年度～ 16 年度	平成 17 年度
食 生 活	平成 16 年度～ 17 年度	平成 17 年度～ 18 年度
衣 生 活	平成 17 年度～ 18 年度	平成 22 年度～ 23 年度
人 の 一 生	平成 18 年度～ 19 年度	平成 18 年度～ 19 年度
民間信仰・口頭伝承	平成 19 年度～ 20 年度	平成 19 年度～ 20 年度
生 産 ・ 生 業	平成 20 年度～ 21 年度	平成 20 年度～ 21 年度
住生活・交通・交易	平成 21 年度～ 22 年度	平成 21 年度～ 22 年度

えたものを、印刷・発行した。

なお、これらの調査に関係した内容の古い写真などを所有している方には、提供のお願いを併せて行った。話者から提供していただいた写真は、話者の調査票のペーシ内に合わせて掲載するようにした。

それぞれの調査に参加していただいた調査員数及び件数（調査を受けた方）は別表2のとおりである。

#### 四 平成一九年度の基礎調査及び報告書の刊行

##### 《基礎調査》

##### (1) 人の一生

人が生まれることに関わる儀礼、オビトキや七五三など子どもが丈夫に育つように願う儀礼、成人してとして一人前になり社会の重要な要素である家族とのかかわりが深い結婚に関する儀礼、そして、人生の終末に関する死とそれに対応する葬儀など様々な儀礼を対象に妻沼地域で調査を行った（熊谷地域は平成十八年度で調査を終了）。

平成一九年二月二〇日、調査員に委嘱状を交付、説明

【別表2】

年 度	調査名	地域	調査員	調査件数
平成 16 年度	年 中 行 事	熊谷	60 人	165 件
平成 17 年度	食 生 活	熊谷	91 人	235 件
	年 中 行 事	妻沼	57 人	136 件
平成 18 年度	衣 生 活	熊谷	69 人	159 件
	食 生 活	妻沼	52 人	104 件
平成 19 年度	人 の 一 生	熊谷	51 人	116 件
		妻沼	45 人	87 件
平成 20 年度	民 間 信 仰 ・ 口 頭 伝 承	熊谷	49 人	110 件
		妻沼	39 人	76 件

会を開催し調査を開始した。説明会に合わせて、民俗研究家の飯塚好氏から講話をしていただいた。

調査期間は平成一九年一月二〇日までであった。

(2)民間信仰・口頭伝承

それぞれの家における屋敷内や敷地内の神、組(クルワ・小字・隣組など)で祀る神、講・堂・庵などの民間信仰、地域に伝わる伝説や昔話、遊び歌、年中行事に関わる歌、子守歌や童詞などの口頭伝承、ことわざや前兆・予知、民間療法などに関する民間知識について熊谷・妻沼地域で調査を行った。

熊谷地域では、平成一九年九月二八日、調査員に委嘱状を交付、説明会を開催。調査期間は平成一九年一月二〇日までであった。

妻沼地域では、平成二〇年一月二八日、調査員に委嘱状を交付、説明会を開催。調査期間は平成二〇年四月三〇日までであった。

それぞれの説明会において、「民間信仰・口頭伝承調査の実施にあたって」と題して、熊谷市史民俗部会専門委員・民俗研究家の飯塚好氏から講話をしていただいた。《調査報告書の刊行》

(1)人の一生(熊谷地域編) 平成一九年九月二〇日発行

A4版 五一九頁

第一章 調査の経緯と質問事項

第二章 総論(調査結果の分類・分析)

第三章 調査票

※各調査報告書の構成は三章から成り、この報告書と同様となっている。

一部 一〇〇〇円で有償頒布

(2)人の一生(妻沼地域編) 平成二〇年一月一八日発行

A4版 五一九頁

一部 一〇〇〇円で有償頒布

五 平成二〇年度の基礎調査及び報告書の刊行

《基礎調査》

(1)生産・生業

農業については稲作や麦作、養蚕、畑作などにかかる地域環境や変遷、作業の内容や使用した道具、生産暦、牛馬の利用、用水の利用、農休みなど、集落での職人や商人についてはそれぞれの種類や仕事・商いの内容、行

商人など、また、狩猟・漁については種類や方法・捕つたものの利用についてなど、そして、平地林については利用方法などについて調査を行った。

熊谷地域では、平成二〇年九月二二日、調査員に委嘱状を交付、説明会を開催し、調査期間は平成二〇年一月二五日までであった。

妻沼地域では、平成二〇年一月一七日、調査員に委嘱状を交付、説明会を開催し調査を開始した。調査期間は平成二一年四月三〇日までで、現在実施中である。

それぞれの説明会において、「生産・生業調査の実施にあたって」と題して、熊谷市史民俗部会専門調査員の内田幸彦氏から講話をしていただいた。

《調査報告書の刊行》

(1) 民間信仰・口頭伝承（熊谷地域編）

A 4 版 三八〇ページ

平成二〇年九月二〇日発行

一部九〇〇円で有償頒布

(2) 民間信仰・口頭伝承（妻沼地域編）

平成二〇年一月二五日発行

A 4 版 三二〇ページ  
一部九〇〇円で有償頒布

（文責 山本 喜久治）

III 市史編さん業務日誌（抄）

（平成一九年四月～平成二〇年二月）

【平成一九年度】

4・1	社会教育課に市史編さん室設置（事務所を妻沼展示館内に置く。）	7・1	市史編さん委員公募開始
4・3	市立熊谷図書館より資料等の移動	7・3	間々田青木次雄家文書借用
4・13	久喜市久喜公文書館視察	7・4	原井井上勲家文書借用
5・9	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会（以下「埼玉協」とする。）第一回理事会（埼玉県立文書館）	7・19	妻沼聖天山歓喜院文書調査
5・17	保存期限満了の行政文書の収集（第二文書庫、佐谷田文書庫）	7・20	妻沼聖天山歓喜院文書調査
5・18	保存期限満了の行政文書の収集（第二文書庫、妻沼行政センター、江南行政センター）	7・24	第一回埼玉協専門研究委員会
5・21	保存期限満了の行政文書の収集（江南行政センター、大里行政センター）	7・25	市史編さん委員公募締め切り
5・30	太井石井義男家文書の返却・借用	7・30	市史編さん委員公募委員審査会
6・1	埼玉協総会（埼玉会館）	8・1	くまがや古文書学習・研究会との共同文書調査（以下「くまがや古文書学習・研究会文書調査」とする。）
		8・8	妻沼田島美代家文書借用
		8・2	飯塚鈴木進家文書返却、借用
		6・7	小川町視察
		6・8	大里村史資料の移動
		6・19	妻沼清水徳男家調査
		6・20	妻沼田島良生家文書の借用
		6・20	妻沼歓喜院文書調査及び聖天堂視察
		6・26	第一回埼玉県文書調査委員会議

8・6	定例教育委員会において市史編さん委員の承認	10・1	第二回市史編さん委員会
8・7	妻沼小島小林利雄家文書借用	10・3	八木田大槻家文書返却
8・8	くまがや古文書学習・研究会文書調査	10・3	くまがや古文書学習・研究会文書調査
8・21	日向島田道郎家文書借用	10・6	東別府権田不二夫家文書返却
8・22	くまがや古文書学習・研究会文書調査	10・10	妻沼長谷川眞一家文書返却
8・29	くまがや古文書学習・研究会文書調査	10・10	大野大島浩家文書返却
8・31	第一回市史編さん委員会 教育委員会から市史編さん委員会へ諮問	10・10	くまがや古文書学習・研究会文書調査
9・5	くまがや古文書学習・研究会文書調査	10・12	民俗基礎調査（民間信仰・口頭伝承）調査員説明会（熊谷地域二回目）
9・10	妻沼小島小林利雄家文書返却	10・16	行田市視察
9・11	川原明戸松本清二家文書返却	10・23	市史編さん委員会答申書の提出
9・12	くまがや古文書学習・研究会文書調査	10・24	下奈良集福寺調査
9・14	第二回埼玉協専門研究委員会	10・25	埼玉協理事会、研修会（朝霞市）
9・19	くまがや古文書学習・研究会文書調査	10・30	下増田新井三郎家古文書借用
9・20	市史（旧熊谷市編）調査報告書民俗編第四集「人の一生」刊行	11・3	定例教育委員会において答申書承認
9・27	妻沼田島美代家文書返却	11・6	東別府個人蔵文書調査
9・28	民俗基礎調査（民間信仰・口頭伝承）調査員委嘱式及び説明会（熊谷地域）	11・7	柿沼龍昌寺文書借用
10・1	間々田青木次雄家文書返却	11・7	くまがや古文書学習・研究会文書調査
		11・12	太井石井義男家文書返却
		11・12	妻沼堀越尚二家文書借用

11・14	出来島栗原英雄家文書返却	1・16	くまがや古文書学習・研究会文書調査
11・14	下奈良飯塚誠一郎家文書調査	1・18	市史(妻沼地域編)調査報告書民俗編第四集「人の一生」刊行
11・14	くまがや古文書学習・研究会文書調査		
11・16	弁財大島清和家文書借用	1・28	民俗基礎調査(民間信仰・口頭伝承)調査員委 嘱式及び説明会(妻沼地域)
11・28	熊谷市史編集委員設置規則施行	1・29	妻沼田島良生家文書返却
11・30	埼玉協視察研修会(神奈川県寒川町)	1・30	くまがや古文書学習・研究会文書調査
12・5	代田中賢一家文書借用	1・31	第二回埼玉県文書調査員会議
12・5	原井井上勲家文書返却	2・5	下奈良飯塚誠一郎家調査
12・5	くまがや古文書学習・研究会文書調査	2・6	文書資料取扱講習会(県立文書館)
12・12	柿沼龍昌寺古文書返却	2・6	くまがや古文書学習・研究会文書調査
12・13	本石竹井輝彦家訪問	2・13	下奈良飯塚誠一郎家文書借用
12・17	弥藤吾大山雄三氏に聞き取り調査	2・18	三ヶ尻幸安寺文書調査
12・19	第三回埼玉協専門研究委員会	2・19	第四回埼玉協専門研究委員会
12・19	くまがや古文書学習・研究会文書調査	2・20	くまがや古文書学習・研究会文書調査
12・25	日向島田道郎家文書返却	2・21	立正大学古文書研究会との共同調査(飯塚誠一 郎家文書・く25日)
12・27	樋春小島洋一家文書寄贈受入		
1・9	新堀中村定弘家文書借用	2・28	くまがや館「大和屋の歴史展」視察
1・9	代田中賢一家文書返却	3・5	くまがや古文書学習・研究会文書調査
1・11	妻沼地域文化財調査研究会に民俗基礎調査協力 依頼	3・7	立正大学古文書研究会との共同調査(飯塚誠一 依頼)





6・18	弥生廣川文書返却		郎家文書・く11日)
6・21	第一回考古専門部会	8・8	熊谷市郷土文化会に民俗基礎調査協力依頼
6・25	第一回近世専門部会	8・12	第二回中世専門部会
6・27	第一回埼玉県文書調査員会議	8・21	青山根岸友憲家調査
7・3	間々田個人蔵文書借用	8・21	立正大学古文書研究会との共同調査(飯塚誠一 郎家文書・く25日)
7・6	近代・現代合同第一回専門部会	8・26	埼玉協史専門研究委員会視察(久喜市)
7・13	下奈良飯塚泰久家文書借用	8・27	第一回編さん委員会
7・16	新堀森田八重子家文書調査	9・1	永井太田掛川真純氏文書借用
7・17	熊谷図書館収蔵庫内文書・資料調査	9・2	妻沼堀越元雄氏収集文書借用
7・18	埼玉協史実務研修会	9・3	下奈良集福寺文書調査(く4日、9日)
7・24	弥生落合家文書借用	9・3	弥生落合家文書返却・一部寄贈受入
7・24	石原新井重雄家資料借用	9・3	石原新井重雄家資料返却・資料寄贈受入
7・29	妻沼展示館内収蔵庫整理	9・10	第二回考古専門部会
7・30	飯塚鈴木進家B文書返却	9・11	小泉田所恒行家文書借用
8・1	下奈良飯塚泰久家文書寄贈受入	9・12	立正大学古文書研究会との共同調査(飯塚誠一 郎家文書・く16日)
8・3	第二回現代専門部会	9・20	民俗編調査報告書第五集民間信仰・口頭伝承(熊 谷地域編) 刊行
8・4	永井太田掛川真純家文書借用	9・21	第二回近代専門部会
8・4	三ヶ尻幸安寺文書調査報告		
8・6	下奈良飯塚誠一郎家訪問		
8・7	立正大学古文書研究会との共同調査(飯塚誠一		

9・22	民俗基礎調査(生産・生業) 調査員委嘱式及び 説明会(熊谷地域)	11・16	近代・現代専門部会合同市内巡検
9・25	第二回埼玉協専門研究委員会	11・17	第三回中世専門部会
9・28	第一回編集会議	11・17	遺物実測図委託現地調査
9・29	間々田個人蔵文書返却	11・19	上中条常光院文書調査(21日)
10・1	新堀中村定弘家文書返却・借用	11・19	くまがや古文書学習・研究会文書調査
10・1	下増田新井三郎家文書返却・調査	11・22	四方寺吉田康久家文書調査
10・1	くまがや古文書学習・研究会文書調査	11・26	第二回近世専門部会
10・6	第二回埼玉県文書調査員会議	12・3	くまがや古文書学習・研究会文書調査
10・10	八木田大槻椒家文書返却	12・4	本石竹井輝彦家文書調査
10・10	下増田観音寺調査	12・10	上中条常光院漢籍・聖教等借用
10・16	大里村史資料の移動	12・12	下奈良飯塚誠一郎家文書調査中間報告
10・24	上中条常光院調査	12・15	民俗編調査報告書第五集民間信仰・口頭伝承(妻沼地域編) 刊行
10・25	第一回古代専門部会	12・16	佐谷田田ヶ谷家文書返却
10・29	県立文書館民俗関係文書写真撮影	12・17	民俗基礎調査(生産・生業) 調査員委嘱式及び 説明会(妻沼地域)
10・30	本石志村葉子家文書借用	12・17	くまがや古文書学習・研究会文書調査
10・31	石原関口毅家文書返却	12・18	妻沼小池瑞枝家文書返却
11・5	くまがや古文書学習・研究会文書調査	12・18	旧市立熊谷女子高校資料の移動
11・7	上之小鮎昌雄家文書借用		